

# <研修マニュアル> 初めての横浜プログラム

<準備をしましょう>

- ① 各自のパソコンに「アセスメントシート」をダウンロードします。1クラスにつき1シート必要です。

○アセスメントシート

YCAN→区局 Web→教育委員会事務局→人権教育・児童生徒課→横浜プログラム

※指導プログラムは必要に応じて、横浜市教育委員会ホームページからご確認ください。各校に配布済の冊子もあります。

横浜市教育委員会 HP→各種・プラン方針→子どもの社会的スキル  
横浜プログラム

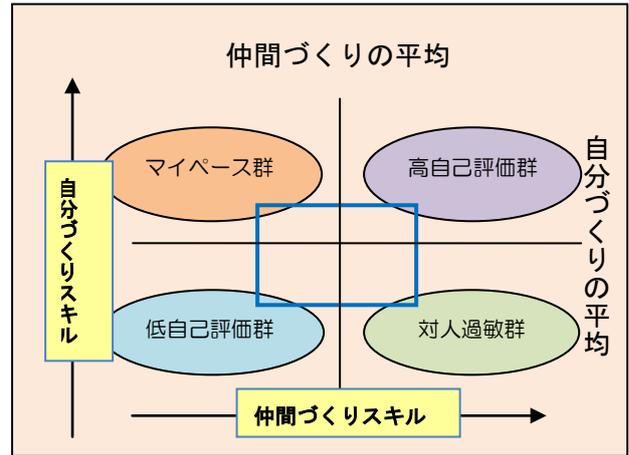
- ② 学校生活アンケートの回答を入力します。

個人シートを開いて、エクセルシートに学級の名簿を作成する。  
(他の名簿データから貼り付けることも可能です)

※名簿作成後、学校生活アンケートの回答を入力すると、必要なデータ(各種分析)を見ることができます。

## 学級分布図の4群の子どもの特徴

4群ごとの子どもの特徴を念頭において、子ども同士の関係性や、教師から見たイメージとのずれ等に注目して、学級の構造を推論してみましょう。中心の□は、7割の子どもが入る範囲であり、ここから外れている場合は、4群の傾向が顕著であると判断されます。



### ○ 高自己評価群

友達や先生から評価され、自己評価が高いと思われる群。通常は、学級のリーダーやそのグループ等はこの群にいる場合が多い。教師からの評価が低いのにこの群にいる子どもは、学級内で隠然とした影響力がある場合がある。稀に、質問紙の意味がよく理解できていなかったり、状況の認知がわるい子どもが、右上の極端な場所にいる場合もある。

### ○ 対人過敏群

友達や先生の評価が気になるタイプの群。本当の自分が表出されていない可能性がある。他の群との子どもとの関係性に注目し、誰かの手前、様々な役割を演じている可能性に注意しなければならない場合もある。

### ○ マイペース群

仲間づくりが苦手な群。自分のペースで物事を行うので、周囲からは変わり者と見られる場合も多い。自己評価が低くないので、好き勝手しているわがままという印象を持たれることも多く、他の子どもたちから攻撃の対象とされる場合もある。攻撃されると自己評価が下がり、低自己評価群に陥るため、このタイプの子どもたちの位置の変動は、学級の温かさのバロメーターになる。

### ○ 低自己評価群

文字通り、自己評価が低い群。極端な位置にいる子どもは、いじめや虐待等を受けていたりする場合も多く見られる。成績不振や人間関係が築けず、孤立している子どもである可能性が高いため、間違いなく要支援の子どもたちである。

### ☆ 教師がもつイメージと子どもの位置がずれている場合

何が「ずれ」の原因かを探る必要がある。教師には見えていない子どもの意識を推論するために、普段のエピソードと、プロフィール票をあわせて検討する「個人アセスメント」を試してみましょう。

# 学級風土チェックシート簡易版

- ① 学級（集団）について、6つの観点の中から最も優れている点に＋、最も向上させたい点に－をつけます。  
 ② －をつけた観点の中から、最も向上させたいスキルに－をつけます。（＋も同様）  
 ③ プログラム一覧（参考：最終ページのおすすめプログラム）を参照し－を付けたスキル番号に◎や○がついているプログラムから学級や集団に適したものを選択して実施します。  
 ※本シートについては、複数の教師で話し合いながら行うと効果的です。

年 月 日実施 学年 組 作成者：

		6つの観点とその具体	+・-	18のスキル	+・-
自分づくり	公正	よいことはよい、悪いことは悪いと言える雰囲気がある 場の雰囲気や人の意見に流されず、自分の意見や感じ方を表明できる		①自分の意見をもつ	
				②自分なりの見方や考え方をもつ	
	寛容	失敗や意見の違いを温かく認め、包み込んでいこうとする雰囲気がある 互いのよさや違いを認め、尊重していこうとする		③自他のよさを見いだす	
				④自他のちがいを認める	
仲間づくり	自己表現	率直かつ適切な意志の伝達や感情交流がある 友達との明快なコミュニケーションがとれる		⑤はっきり伝える	
				⑥上手に質問をする	
				⑦きっぱり断る	
				⑧仲間に加わる	
				⑨仲間に誘う	
				⑩さわやかにあいさつする	
	配慮	思いやりのある言動・行動が自然に現れる 友達の気持ちを推しはかって行動ができる		⑪自己紹介をする	
				⑫やさしく頼む	
課題遂行	グループの目的や課題解決に意欲をもつ 集団の課題・目標を達成するために話し合いを進めている		⑬気持ちに共感する		
			⑭あたたかい言葉をかける		
合意形成	意見や感情の違いを認めながら、集団の意見をまとめようとする みんなの意見を上手に取り入れて話し合いの調整をしている		⑮しっかり話を聴く		
			⑯きちんと謝る		
集団づくり			⑰問題や課題の解決策をみんなで考える		
			⑱互いの感情や意見の違いを認めながら調整しようとする		

○伸ばしたいスキルから、プログラムを選択しましょう。

プログラム名「 \_\_\_\_\_ 」

プログラム名「 \_\_\_\_\_ 」



## 指導プログラムの選択

プログラム一覧から選択する方法もあります。

個や学級集団の状況が把握できたら、方策の一つとして指導プログラムを実践することは、とても大切です。めざす子どもの姿に合わせて、指導プログラムを選んでみましょう。まずは、「自分づくり」「仲間づくり」プログラムから始めることをおすすめします。

## おすすめプログラム

自分の学級に合わせて  
アレンジしてみると  
いいですよ！



No	プログラム名	観 点	スキル番号
18	人間ちえの輪（気持ち合わせる）	公正・寛容	②・④
21	今日の気分は？（自分の気持ちがわかる・伝える）	公正・寛容	②・④・⑬
33	わたしっていいな ホメホメ大作戦（よいところさがし）	寛容	③
35	あなたのよいところは	寛容	③・⑭
38	ナイス！アイデア！（ブレインストーミング）	寛容	① ④
48	サイコロペアトーク（自分を語る）	自己表現	⑤・⑮
53	手拍子チームワーク	自己表現	⑧
59	みんなで協力 なかまをみつけよう（仲間さがし）	自己表現	⑧・⑨
64	リズムでつなごうみんなの輪（一体感を感じる）	自己表現	⑧・⑨・⑩
71	名刺交換、よろしくね（自己紹介）	自己表現	⑩・⑪・⑮
72	自己紹介すごろく（自己紹介ゲーム）	自己表現	⑪・⑮
74	ギュッと団結！（一体感を味わう）	配慮	② ⑬
85	ふわふわ言葉とチクチク言葉（あたたかい言葉を使う）	公正	①
92	なにがすき？（共通する話題で集まる）	自己表現	③・⑧
97	「ごめん」の一言（役割演技で考える）	配慮	⑬・⑯



## 学級アセスメント・支援検討会は

**15分以内で 楽しく！ 明るい雰囲気で！**

担任ひとりでもOKですが…複数で行うと さらにGOOD！  
子たちの姿を思い浮かべて、たくさん 話し合ってください。